

新公立病院改革プランの概要

団体コード	220001
施設コード	004

団体名	静岡県										
プランの名称	静岡がんセンター病院事業経営見直し										
策定日	平成 29 年			3 月			6 日				
対象期間	平成 28 年度			～			平成 32 年度				
病院の現状	病院名	静岡県立静岡がんセンター				現在の経営形態			公営企業法全部適用		
	所在地	静岡県駿東郡長泉町下長窪1007番地									
	病床数	病床種別	一般	療養		精神		結核	感染症	計	
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期		回復期		慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること	
診療科目	科目名	内科、呼吸器外科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、内分泌・代謝内科、女性内科、内視鏡内科、緩和ケア内科、感染症内科、外科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、呼吸器外科、脳神経外科、乳腺外科、食道外科、胃腸外科、大腸外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、歯科、麻酔科 (計37科目)									
(1) 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割 (対象期間末における具体的な将来像)	<p>・高度先端医療の提供等を行う特定機能病院として、がんに特化した駿東東方二次医療圏、静岡県内の急性期患者に対し、状態の早期安定化に向けた診療密度が特に高い医療の提供(高度急性期機能)を行う。また、世界、日本のがん医療の現況を意識しながら、引き続き『がん医療のフロントランナー』として活動していけるよう、2016年度～2024年度にかけて以下を推進していく。 1 低侵襲性手術、2 放射線・陽子線治療一体化、3 がん薬物療法・情報処方、4 再発転移・原発不明病変治療、5 がん診断標準化・高精度化、6 支持療法、緩和ケア、7 AYA世代の診療・ケア、8 高齢者がん治療・ケア、9 発症前診断、予防的外科手術、10 よろず相談・患者家族支援センター・患者図書館・患者サロン、11 リンクナース制度、12 プロジェクトHOPE ・静岡県がん診療連携拠点病院として、地域がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院等と連携しながら、静岡県の「がん医療の均てん化」を推進していく。</p>										
	<p>平成37年(2025年)における当該病院の具体的な将来像</p> <p>・高度先端医療の提供等を行う特定機能病院として、駿東東方二次医療圏、さらには静岡県内のがんに特化した急性期患者に対し、状態の早期安定化に向けた診療密度が特に高い医療の提供(高度急性期機能)を行う。 ・静岡県がん診療連携拠点病院として、地域がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院等と連携しながら、静岡県の「がん医療の均てん化」を推進していく。</p>										
	<p>② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割</p> <p>・地域包括ケアシステムについての情報収集とともに、地域包括ケア病院との連携による静岡県立静岡がんセンター患者の安心・安全な在宅医療への移行、在宅療養の継続について近隣地域の訪問看護ステーション支援など静岡県立静岡がんセンターが果たすべき役割を検討していく。</p>										
<p>③ 一般会計負担の考え方 (繰出基準の概要)</p> <p>・効率的な経営を行いつつ、静岡がんセンターが県内がん医療の中核的な役割を果たしていくため、高度医療に要する経費をはじめとする計9項目について、病院負担とすることが適当でない経費及び病院負担が困難な経費として、国の定める基準等に従って、県の一般会計が負担する。</p>											
④ 医療機能等指標に係る数値目標											
1)医療機能・医療品質に係るもの											
手術件数(件)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	28年度(実績)	29年度(計画)	29年度(実績)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)	備考	
紹介率(%)	4,505	4,648	4,900	4,669	4,900	4,587	4,900	4,900	4,900		
逆紹介率(%)	82.5	82.2	80.0	84.2	80.0	85.3	80.0	80.0	80.0		
放射線治療件数(件)	72.8	70.7	60.0	63.9	60.0	66.7	60.0	60.0	60.0		
	38,163	39,505	40,000	38,430	40,000	38,880	40,000	40,000	40,000		
2)その他											
患者満足度(%) (入院)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	28年度(実績)	29年度(計画)	29年度(実績)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)	備考	
患者満足度(%) (外来)	96.7	97.9	95.0以上	98.0	95.0以上	98.2	95.0以上	95.0以上	95.0以上		
	96.8	95.9	95.0以上	96.4	95.0以上	95.0	95.0以上	95.0以上	95.0以上		

(3) 再編・ネットワーク化	当該公立病院の状況	<input type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準（過去3年間連続して70%未満） <input type="checkbox"/> 地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討する必要がある
	二次医療又は構想区域内の病院等配置の現況	(静岡県駿東田方医療圏) ・区域内には43病院(精神科病院を除く)があり、内訳は500床以上が静岡県立静岡がんセンターほか1病院、200床以上500床未満が6病院、200床未満が35病院となっている。(平成29年4月現在) ・平成26年(2014年)7月の病床機能報告における医療圏内稼働病床数は6,029床であるのに対し、平成37年(2025年)の必要病床数は4,929床と推計されている。病床機能別に見ると、急性期病床で約1,700床が余剰、回復期病床で約1,100床の不足が生じると予測されている。 ・静岡県立静岡がんセンターは医療圏内唯一の高度先端医療の提供を行う特定機能病院として診療業務を行っており、病床も、現在、高度急性期病床557床、急性期病床50床の607床を稼働させている。
(4) 経営形態の見直し	当該病院に係る再編・ネットワーク化計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> _____ <内容> _____
	経営形態の現況 (該当箇所に✓を記入)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
(5) 新改革プラン策定に関する都道府県からの助言や再編・ネットワーク化計画策定への都道府県の参画の状況	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に✓を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> _____ <内容> _____ 615床の全床・最適な経営形態を検討していく。 開棟を達成 それまでの間は、病院運営の機動性の向上や職員の経営参画意識の醸成など現行の地方公営企業法の全部適用に 後、3年以内 より得られるメリットを生かした経営改善に取り組みより一層の経営合理化に努めていく。
※点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	・静岡県立静岡がんセンターの「経営戦略会議」において点検・評価を行い、必要に応じて修正を行っていく。 ・(参考)経営状況については、県監査委員会による監査、県議会による決算認定により評価を受けている。
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	院内における点検評価: 毎年7月頃 (参考) 9月県議会: 決算状況提出 12月県議会: 決算審査、認定
	公表の方法	静岡県立静岡がんセンターのHPで公表
その他特記事項		